

# 大隅地域感染症情報

2019年第26週報（6月24日～6月30日）

発行：大隅地域振興局保健福祉環境部

## ○全数把握疾患の報告数

	鹿屋保健所管内	志布志保健所管内
一類感染症	該当なし	該当なし
二類感染症	該当なし	該当なし
三類感染症	該当なし	該当なし
四類感染症	該当なし	該当なし
五類感染症	急性弛緩性麻痺：1件 百日咳：2件	該当なし

※速報値であり、後日修正になる可能性があります。

## ○定点把握疾患の報告数

・手足口病について、鹿屋保健所管内、志布志保健所管内共に警報の基準値を下回っていますが、県全体では引き続き警報発令中です。

疾病	警報レベル 開始/終息 基準値	注意報 基準値	鹿屋保健所管内推移				志布志保健所管内推移				大隅全体	県全体
			23週	24週	25週	26週	23週	24週	25週	26週	26週	24週
インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	1.13	0.50	0.00	0.75	0.40	0.00	0.00	0.00	0.46	0.01
RSウイルス感染症	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.67	1.33	0.00	0.00	0.43
咽頭結膜熱	3.00/1.00	-	0.80	0.40	0.60	0.80	0.00	0.00	0.00	0.67	0.75	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	-	0.80	0.20	0.60	0.60	1.33	1.33	2.67	0.67	0.63	1.65
感染性胃腸炎	20.00/12.00	-	10.20	7.60	6.20	6.40	3.67	2.67	4.00	4.33	5.63	5.02
水痘	2.00/1.00	1.00	0.20	0.00	0.20	0.40	1.00	0.67	3.00	0.67	0.50	0.48
手足口病	5.00/2.00	-	6.40	4.80	1.80	1.20	2.33	3.33	1.00	1.33	1.25	8.22
伝染性紅斑	2.00/1.00	-	0.00	0.20	0.00	0.40	0.00	0.00	0.33	0.00	0.25	0.56
突発性発疹	-	-	0.00	0.20	0.40	0.60	0.33	0.67	0.33	0.00	0.38	0.50
ヘルパンギーナ	6.00/2.00	-	0.20	1.00	0.20	0.40	0.67	2.67	1.00	1.00	0.63	2.26
流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	0.40	0.20	0.20	0.40	0.33	0.00	0.00	0.67	0.50	0.09
急性出血性結膜熱	1.00/0.10	-	0.00	0.00	0.00	0.00						-
流行性角結膜炎	8.00/4.00	-	1.00	0.00	0.00	0.00						1.29
細菌性髄膜炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
無菌性髄膜炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08
マイコプラズマ肺炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
クラミジア肺炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	-	-	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08
インフルエンザ入院患者(人)	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	

警報基準値以上

注意報基準値以上

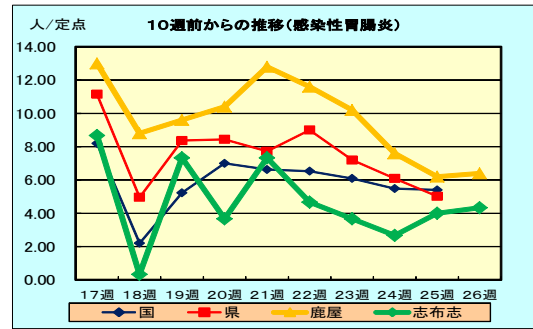
## ○感染性胃腸炎について

【 警報開始基準値 20.0, 警報終息基準値 12.0 】

感染性胃腸炎の発生状況は、  
鹿屋保健所管内からは32名（定点当たり報告 6.40）の報告がありました。

志布志保健所管内からは13名（定点当たり報告 4.33）の報告がありました。

年齢別では、10～14歳が最多でした。



※第26週は鹿屋・志布志のみ掲載

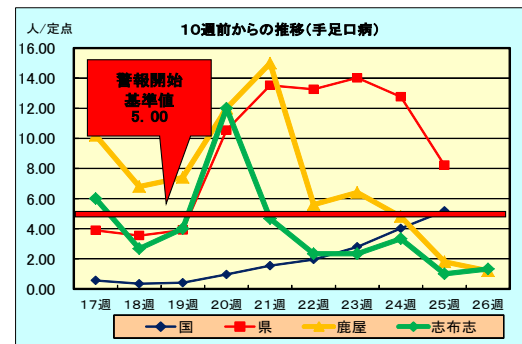
## ○手足口病について 県全体に警報発令中！

【 警報開始基準値 5.0, 警報終息基準値 2.0 】

手足口病の発生状況は、  
鹿屋保健所管内からは6名（定点当たり報告 1.20）の報告がありました。

志布志保健所管内からは4名（定点当たり報告 1.33）の報告がありました。

年齢別では、3歳が最多でした。



※第25週は鹿屋・志布志のみ掲載

## 「手足口病の予防について」

管内では手足口病の警報が解除されましたが、県全体では多い状況が続いています。  
例年夏場にピークが見られ今後再び増える事も予想されるため、注意が必要です。

### 【手足口病とは】

口の中や手足などに水疱性の発疹が出る、ウイルスの感染によって起こる感染症です。

子どもを中心に、主に夏に流行します。

感染経路は、飛沫感染、便中に排泄されたウイルスによる経口感染、水疱内容物からの接触感染などです。

保育施設や幼稚園などでは、子ども達同士の生活距離が近く、濃厚な接触が生じやすい事等から、集団感染が起こりやすく注意が必要です。

### 【症状】

3～5日の潜伏期をおいて、口の中や、手のひら、足底や足背などに水疱性の発疹が出現します。一般的には発熱で始まる軽い病気で、ほとんどの人が1週間から10日程度で自然に治ります。合併症もほとんどありませんが、まれに髄膜炎等の中枢神経症状が発生することもあります。

### 【予防方法】

予防方法としては、接触感染を予防するために手洗いをしっかりとすること、排泄物を適切に処理することです。

保育施設などでは特におむつ交換をするときには、排泄物を適切に処理し、しっかりと手洗いをしてください。

また、タオルの共有はしてはいけません。

